

有茎棘突起再生スパーサ

K-Spacer

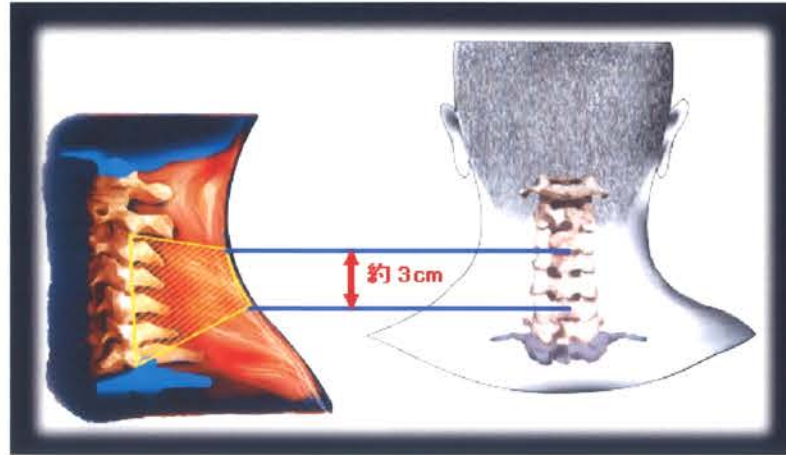


K-Spacerの特徴

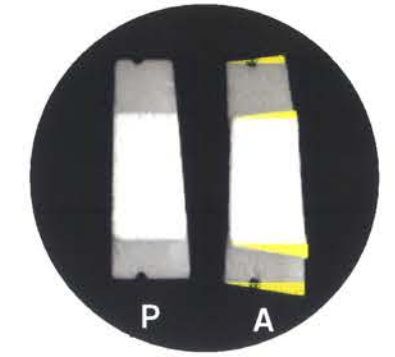
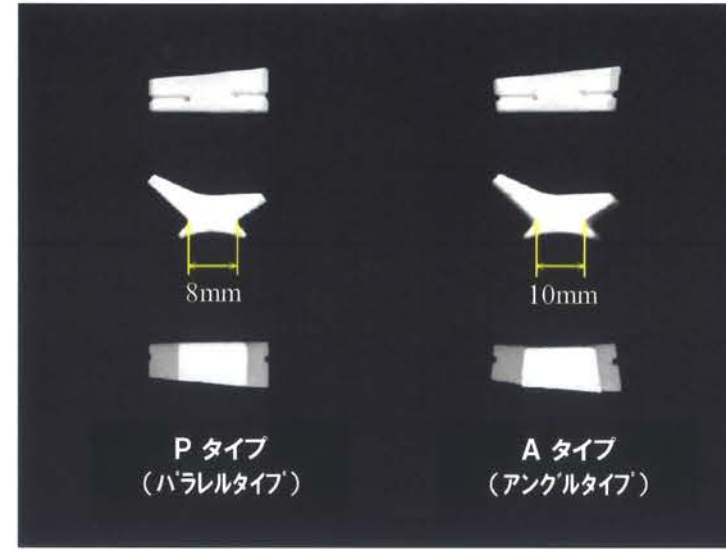
- 安全性：棘突起固定用ツバにより脊柱管へ落ち込みにくくなっています。
- 生理的：棘突起を正中に保持し左右均等に脊柱管の拡大が得られます。
- 矯正力：A(アングル)タイプはアライメントの改善に有用です。
- 実績：十数年にわたり、5000症例以上使用されており、有効性ならびに安全性において高い評価を得ています。

皮切

皮切が3cm程度と小さく縫合しないため手術後の疼痛が少なく傷口も目立ちません。
 (通常は襟足に隠れる部分を切開するため、服を着ている状態では傷口は見えません。)



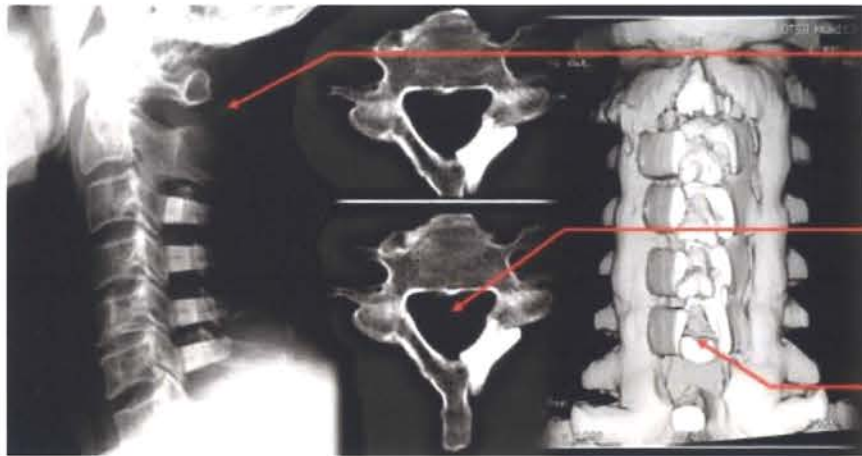
使用
スペーサ



P(バラレル)type A(アングル)type適応		
	P-type	A-type
拡大幅	8mm	10mm
狭窄	○	◎
Alignment	-5°以下	-5°以上

患者様の病状に応じ、P(バラレル)タイプとA(アングル)タイプを使用します。

臨床
応用例



脊椎の弯曲や後方要素の位置も生理的な条件に維持されます。

解剖学的に左右対称な脊柱管の拡大が十分得られます。

棘突起の位置が生理的な位置に保たれます。

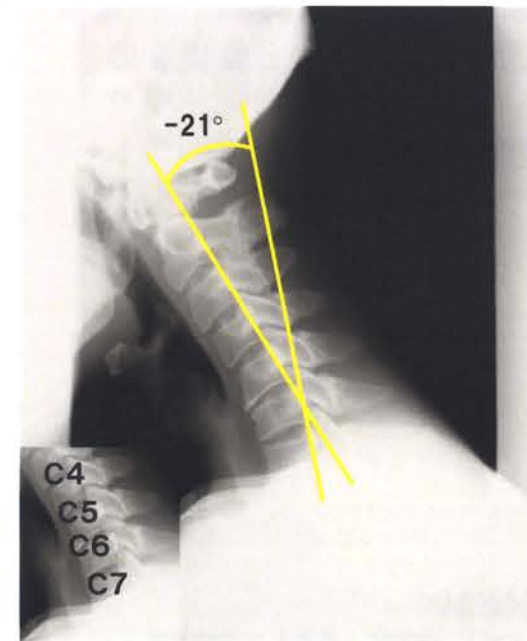


術前

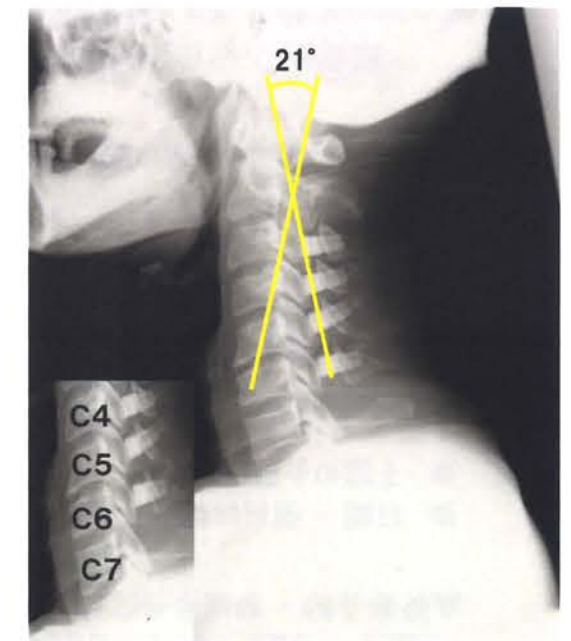


術後

A(アングル)
タイプ
臨床応用例



術前中間位



術後中間位